山形県広報誌県民のあゆみ令和３年５月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

＜表紙＞

山形県広報誌／県民のあゆみ　令和３年５月号　第621号

県民のあゆみ５月号

県民の皆さまへ　新型コロナウイルス感染症関連情報（2ページ）
特集　令和３年度当初予算について（4ページ）
奏であう人　若者たちに学びと成長、生き抜く力を（8ページ）
やまがた伝説　さくらんぼ（16ページ）

表紙写真キャプション
「釣り」と「ワーケーション」を組み合わせた「庄内浜釣りケーション」を発信している皆さん。地元自治体や企業、そして県とも連携しながら、二拠点居住や副業なども視野に入れた新しいライフスタイルを提案しています。
（撮影協力：由良自治会活性化委員会、海テラスゆら）

＜2から3ページ＞

タイトル

新型コロナの克服に向けて

世界規模の大災害ともいえる新型コロナウイルス感染症の流行から一年以上の月日が経ちました。県民の皆さまには、これまでの間、新しい生活様式の実践など新型コロナの感染拡大防止に多大なご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。
本県では、３月中旬から感染が急拡大するなど予断を許さない状況が続いていますが、コロナ克服に向けてカギとなるのがワクチン接種です。県内でも、３月上旬から医療従事者等に対し、４月中旬からは高齢者に対し優先接種が実施されています。新型コロナ対策の要となるビッグプロジェクトであり、希望の光になると考えておりますので、引き続き、県と市町村が一体となって取り組んでまいります。
また、県では、自分が感染していないことを自主的に確認するためのＰＣＲ検査やビジネス界の陰性証明に対するニーズに応えるため、県立河北病院に「山形県ＰＣＲ自主検査センター」を開設し、３月から検査を開始しています。県立病院としては全国初の取組みであり、県民の皆さまの不安払拭のお役に立てればと考えています。
新型コロナが収束するまでには、時間がかかると思いますが、明けない夜はありません。県民の皆さまが一日も早く平穏な日々を取り戻せるよう、全力で取り組んでまいります。
県民の皆さま、共にこの難局を乗り越えてまいりましょう。

山形県知事　吉村美栄子

県民の皆さまに改めてのお願い
県民の皆さまには、引き続き、基本的な感染防止対策である新しい生活様式を徹底してくださるようお願いします。
また、事業者の皆さまには、業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」の順守の徹底をお願いします。

食事中以外のマスク着用の推奨
こまめな手洗い
適切な換気
身体的距離の確保
共用部分の消毒
“場の切り替わり”での対策
外出はすいた時間と場所を選んで

ワクチン接種に関する不安・お悩みにお答えします！
山形県ワクチンコールセンター
フリーダイヤル　0120-567690（コロナロックゼロ）
＜受付時間＞
午前８時 30 分から午後６時　（土日祝日も受け付けます）
＜相談体制＞
医療一般に関する知識や経験を有する看護師・保健師の有資格者が対応します。
＜相談内容＞
・ワクチンの副反応や医学的知見を必要とする相談
・県内の全体的な接種スケジュール
・各市町村の相談窓口やコールセンターのご案内

（注釈）接種の予約等に関する相談は各市町村の相談窓口等で対応します。

山形県 PCR 自主検査センターがオープン！

新型コロナウイルス感染症の再流行に伴い、一般県民や企業関係者の間で感染への不安が高まっていることから、自費によるＰＣＲ検査や陰性の証明に対するニーズに応え、県民・企業の方々の不安解消や社会経済活動を支援するため「山形県ＰＣＲ自主検査センター」を開設しました。

●センターの概要
県立河北病院にセンターを設置し、行政検査の対象とならない県民等に低廉な検査料でＰＣＲ検査を実施します。また、希望する方に対しては陰性証明書を発行します。

＜対象者＞

以下の①～③のすべてに該当する方
①県内居住者又は県内居住者に準ずると認められる方（県内事業所に勤務する方、里帰り出産等により県内の実家に帰省している方等）
②感染者の濃厚接触者に該当しない方
③発熱等の症状のない方
＜検査料等　金額は全て税込み＞
検査料　１件につき 5,000 円
証明書発行料　１通につき 1,320 円
（英文又は様式指定の場合は１通につき 3,300 円）
＜採取する検体＞
唾液
＜開設日時＞
平日の午後２時から７時（最終受付は午後６時 45 分）
（注釈）１日 30 人程度（完全予約制）
＜検査受付場所＞
県立河北病院北側　入退院入口

●予約から検査結果通知までの流れ
①検査前
電話による予約申込（平日の午前９時 30 分から午後５時）
②検査当日
受付後、検体の採取
③翌営業日以降
検査結果を電話連絡　希望者には陰性証明書を郵送
●問い合わせ
県立河北病院　電話番号　0237-73-3131
〒999-3511 西村山郡河北町谷地字月山堂 111
（注釈）予約申込の方は「ＰＣＲ自主検査希望」とお伝えください。

新型コロナウイルス感染症関係相談窓口
県では、新型コロナウイルス感染症に関する各種相談窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。
＜相談種別＞
いじめ･偏見･差別問題に関する相談
＜問い合わせ先＞
県地域福祉推進課（023-630-2269）
各総合支庁福祉担当課　村山：023-627-1351　最上：0233-29-1275
置賜：0238-22-3015　庄内：0235-66-5654
＜相談種別＞
生活困窮に関する相談
＜問い合わせ先＞

県地域福祉推進課（023-630-2334）
＜相談種別＞
特別金融相談
＜問い合わせ先＞
県中小企業・創業支援課（023-630-2359）
＜相談種別＞
事業継続に関するお悩み
＜問い合わせ先＞
各総合支庁地域産業経済課　村山：023-621-8442　最上：0233-29-1306
置賜：0238-26-6042　庄内：0235-66-5484
＜相談種別＞
農林水産業に関するお悩み
＜問い合わせ先＞
県農政企画課（023-630-2422）、各総合支庁農業振興課
村山：023-621-8386　最上：0233-29-1314　置賜：0238-26-6049
庄内：0235-66-5497　（注釈）水産業については庄内水産振興課：0234-24-6161
＜相談種別＞
ひとり親家庭のお悩み
＜問い合わせ先＞
ひとり親家庭応援センター（023-633-1037）
＜相談種別＞
外国人向け窓口
＜問い合わせ先＞
（公財）山形県国際交流協会（023-646-8861）
（注釈）対応時間は祝日を除く月曜日から金曜日の午前８時半から午後５時 15 分。 外国人向け相談は対応言語によって異なりますので、お問い合わせください。

＜4から7ページ＞

タイトル

特集 コロナ克服・未来創造予算

令和３年度は、「第 4 次山形県総合発展計画」の基本目標である「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向け、「令和３年度県政運営の基本的考え方」の５つの視点を重視しながら、コロナを克服し、さらに輝かしい山形の未来を創るための予算編成と組織改正を行いました。

【予算規模】
令和３年度一般会計当初予算は、総額６８２３億円となりました。前年度当初予算から約６９０

億円の増となり、３年連続で前年度を上回る予算となります。

【歳入予算】

県税は、コロナ禍により法人事業税や個人県民税の減収が見込まれることから１０４５億円となり、前年度と比べて減額を見込んでいます。

一方で、新型コロナウイルス感染症への対応のための交付金をはじめとした国庫支出金は829億円と前年度比15・0%の増加、地方交付税は１７７２億円と、同じく１・３%の増加を見込んで歳入予算を確保しました。

【県債残高の見込み】

今年度末の県債残高の見込みは、１兆２１０８億円となり、前年度の同時期と比べて、約２７８億円の増加を見込んでいます。また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債と補正予算債等並びに災害復旧事業債を除いた今年度の実質的な県債残高は６６１２億円となります。前年度の同時期と比べて65億円の増加を見込んでいます。

組織機構の改正

「令和３年度県政運営の基本的考え方」に示した施策を効果的に展開し、変化に対応しながら、持続的に発展し続ける県づくりを着実に進めるため、**しあわせ子育て応援部**の新設等の組織機構の改正を行いました。

令和３年度当初予算（一般会計）の概要

歳入 6,823 億円

自主財源 3,346億円（49パーセント）／依存財源 3,477億円（51パーセント）／県税 1,045億円（15.3パーセント）／諸収入 1,464 億円（21.5パーセント）／繰入金 218億円（3.2パーセント）／その他・自主財源 619億円（9.0パーセント）／地方交付税 1,772億円（26.0パーセント）／県債 722億円（10.6パーセント）／国庫支出金 829億円（12.2パーセント）／その他・依存財源 154億円（2.2パーセント）

歳出 6,823億円

商工費 1,331億円（19.5パーセント）／教育費 1,120億円（16.4パーセント）／公債費 883億円（12.9パーセント）／民生費 793億円（11.6パーセント）／土木費 574億円（8.4パーセント）／農林水産業費 402億円（5.9パーセント）／衛生費 369億円（5.4パーセント）／総務費 325億円（4.8パーセント）／警察費 268億円（3.9パーセント）／その他 758億円（11.2パーセント）

用語解説

【歳入】

地方交付税　自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金

県債　災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金

国庫支出金　農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

自主財源　県税など、県が自ら収入する財源

依存財源　国から交付されたり、割り当てられたりする財源

【歳出】
公債費　県債返済などに使うお金
民生費　生活保護などの社会保障のためのお金
衛生費　医療や健康増進、環境保全などのためのお金

視点１
ふるさと山形力の向上
郷土愛を醸成し、みらい創造にチャレンジする環境づくり

【施策の方向性】
●本県の豊かな地域資源を活用した移住・定住の促進
●テレワークなど働き方改革の推進と女性の賃金向上
●幸せな子育て・質の高い教育環境の整備
●文化芸術・スポーツに親しむ環境づくり

【主要な事業】
<NEW 全国初>
◆子育て費用の完全無償化に向けた段階的な支援　11億２千７百万円
「子育てするなら山形県」の実現に向けて、子育て費用の段階的な無償化に取り組んでいきます。出産費用の負担軽減のため、平均出産費用と出産育児一時金の差額の２分の１程度を市町村と連携して給付する「出産支援給付金」を創設します。また、０～２歳児の保育料について、子育て世帯の負担軽減を段階的に図ります。さらに、私立高等学校等の授業料軽減のための支援額を拡充します。

<NEW>
◆発達障がい児の初診待機期間を短縮　２千３百万円
こども医療療育センターに常勤医師を１名増員するとともに、県内4地域において公認心理師による発達検査を行い、早期から支援する体制を構築することで、初診待機期間を短縮します。

<NEW 全国初>
◆女性の賃金向上への支援　１億２千万円
女性の賃金の底上げや正社員雇用を促進するため、若年女性の非正規雇用労働者の賃金引き上げや、正社員への転換を行う事業者に対し、支援金を支給します。

写真キャプション　「子育てするなら山形県」の実現へ

視点２
保健・医療・福祉の充実等による安全・安心な社会づくり

【施策の方向性】
●医療・福祉分野におけるデジタル化推進や提供体制の確保

●がんなど生活習慣病対策の強化
●運動・体操・音楽等を活用した健康づくりの促進
●自殺や虐待、ＤＶ、ひきこもり等への対策強化

【主要な事業】
◆新型コロナウイルス対策のための医療提供体制の強化　141億9百万円（注釈）
新型コロナのワクチン接種に関する県民の不安解消のためコールセンターを開設するとともに、県立河北病院に設置した山形県ＰＣＲ自主検査センターにおいて、自費によるＰＣＲ検査を低廉な検査料で実施し、県民や企業の方々の不安解消や、社会経済活動を支援していきます。
また、新型コロナの専用病床を確保した医療機関等に対する空床補償や、保険適用となるＰＣＲ検査の公費負担などを引き続き行っていきます。

＜NEW＞
◆自宅でも元気に健康維持　５百万円
コロナ禍でも、高齢者が健康を維持し地域で安心して暮らせるよう、介護予防等の活動を行う「通いの場」で、タブレット端末等の使い方を教わりながら、自宅からも参加できるモデル事業を行います。

＜NEW＞
◆がん克服に向けた取組み　１千万円
山形大学医学部と連携し、がんの発症や生活習慣病の予防につながる調査研究を行うとともに、研究成果に基づき、がん克服に向けた取組みを進めます。

写真キャプション　ワクチン接種を迅速かつ確実に

視点３
産業経済の振興・活性化

【施策の方向性】
●産業イノベーションの創出
●地域産業のデジタル化促進
●雇用の創出に向けたスタートアップ支援
●精神文化・地域資源の活用による観光・交流の拡大

【主要な事業】
＜NEW＞
◆中小企業の成長を応援　１億４千６百万円
ポストコロナを見据え、企業の成長の柱となる新製品・新技術開発などのイノベーション創出や、デジタル化の推進に向けた設備投資などを支援する「中小企業パワーアップ補助金」を創設します。

＜NEW 東北初＞
◆多様な人々の起業・創業を支援　３千５百万円
創業支援ワンストップ窓口と、県内コワーキングスペースの中核的機能などを有する山形県創業支援センター（仮称）を設置し、県内での起業・創業や事業創出を促進します。

◆観光需要回復への取組み　１億７千５百万円
新型コロナの影響により落ち込んだ観光需要の回復に向け、県民泊まって元気キャンペーンについて、５００円の宿泊割引クーポンを 30 万枚追加発行します。

＜NEW＞
◆精神文化を活用した観光誘客の促進　１千１百万円
出羽三山ややまがた出羽百観音に代表される本県が誇る精神文化のブランド化およびブランドコンセプトに基づく動画の制作・配信、魅力的なコンテンツの発信などデジタルプロモーションを展開することにより、観光誘客を進めます。

写真キャプション１　唐松観音
写真キャプション２　ブランド化を目指すやまがた出羽百観音

視点４
農林水産業の振興・活性化

【施策の方向性】
●スマート農業の推進・高度な農業経営人材の育成
●ｅコマースやオンライン等を活用した農林水産物の販売促進
●「やまがた森林（モリ）ノミクス」の加速

【主要な事業】
＜NEW＞
◆農林水産業のデジタル化推進　８千４百万円
広域での衛星画像解析によるつや姫の生育診断や、環境モニタリングセンサーのきめ細かな設置による生産効率化などに加え、ＥＣサイトを活用した売上げの増加に向けた取組みへの支援やオンライン商談会の開催など、みんなが使えるスマート農林水産業を進めます。

＜NEW＞
◆地域農業の担い手を支援　５千５百万円
小規模農家など地域農業を支える多様な担い手の確保・育成に向け、地域ぐるみの取組みや、女性活躍の取組みなど、新たなチャレンジを、市町村と連携して支援します。

◆「やまがた森林（モリ）ノミクス」の加速化　9 千 5 百万円
林業の成長産業化と森林資源の適切な管理に向けた市町村の取組みへの支援の強化や、公共建築物等の木造化推進に向けた「県産構造材バンク」の創設、県産認証材を利用した民間施設の新築

への支援の強化などを行います。

<NEW　東北初>

◆漁業就業者の確保・育成　１千９百万円

新規漁業就業者 20 名の確保に向け、漁業研修開始時に必要な準備を支援するとともに、新規独立漁業者の経営安定化のため、独立後３年間の所得を補償します。

写真キャプション　定置網漁業の研修風景

視点５
やまがた強靭化

【施策の方向性】

●ソフト・ハード両面における防災力の強化
●道路・鉄道・空港・港湾など社会資本整備のさらなる促進
●地域公共交通ネットワークの充実強化
●市町村をはじめとする県内外との広域連携の強化

【主要な事業】

◆令和２年７月豪雨等を踏まえた治水対策　１３８億９千９百万円（注釈）

令和２年７月豪雨と同じ規模の雨でも浸水被害が発生しないように、国土交通省や市町村等と連携して治水対策に取り組みます。

◆地域防災力の活性化　４百万円

避難所運営等の中心的役割を担う防災士の養成、防災活動への多様な主体の参加を促す「女性のためのオンライン防災カフェ（仮称）」の開催など、地域防災力の向上を図ります。

<NEW>

◆庄内空港の機能強化と活性化　１千１百万円

インバウンド対応のため、国内線と国際線の利用客の導線を分けるなどの機能強化の検討や、庄内空港ファンクラブ（仮称）の設立に向けた支援を行います。

<NEW>

◆ゼロカーボン社会の実現に向けた取組み　２千９百万円

昨年８月に宣言した「ゼロカーボンやまがた２０５０」の達成に向け、有識者・産業界・一般県民等からなる推進会議を設置するとともに、公用車に電気自動車を導入します。

写真キャプション　被災時、被災後の治水対策の実施例

（注釈）令和 2 年度 2 月補正予算額を含めた額

＜8から9ページ＞

タイトル　**奏であう人** ボリューム60

撮影場所　雪の里情報館（新庄市）

キーワード　若者たちに学びと成長、生き抜く力を

地域全体での学び合いをコーディネートする髙山さん、孤立する子どもたちや若者を幅広く支援する白石さんのお二人に、活動を通した地域づくりと人づくりについてお話をお聞きしました。

髙山恵美子（たかやま　えみこ）さん（新庄市）

昭和30年生まれ、尾花沢市出身・新庄市在住。一般社団法人とらいあ副理事長。新庄親子劇場事務局長、NPO法人子育てネットワーク・バルボンさん設立（代表理事）を経て、市民ネットワーク・図書館サポートとらいあを設立後、2010年に一般社団法人化。現在は、新庄・最上ジモト大学の運営に事務局として関わる。JPIC読書活動アドバイザー、生涯学習推進コーディネーター（上級）、コミュニティカウンセラー。

写真キャプション　新庄・最上ジモト大学プログラム「冊子の編集者になって地域を掘り下げる！」の初回ミーティング。プログラム提供者から、フリーペーパーの企画・取材・編集・発刊について説明を受け、熱心に耳を傾ける高校生。次回はいよいよ取材先へ。

白石祥和（しらいし　よしかず）さん（米沢市）

昭和56年生まれ、米沢市出身・在住。NPO法人With優代表。小学校や民間企業勤務、海外ボランティアの経験などから、2007年にフリースクール設立。県から若者相談支援拠点設置運営事業や若者サポートステーション事業等を受託。やまがた若者応援大使も務める。2021年には若者力大賞においてユースリーダー支援賞を山形県人として初受賞。今年度からは山形県生活自立支援ひきこもり支援モデル推進事業にも取り組んでいる。

写真キャプション　With優では、フリースクールに通う生徒たちが、地域の方々と交流を深めるカフェレストランを運営。フリースクールの教室を利用して12月から5月を除き、月２回程度営業し、社会参加のきっかけと就労体験の機会を提供している。写真はペット連れで過ごせるテラス席。

多様な学びのあり方と社会参加のきっかけづくり

白石さんが運営するフリースクールには、学校に行けない子どもや、行かないことを選択した青少年たち20名ほどが通っています。

「ひきこもりなどで孤立した若者が就労を目指すための、会員制居酒屋“結（ゆい）”も立ち上げました。お客様と接しながら経験を積む実践的なトレーニングの場で、自立した後も気軽に集まれるようにしています。

会員制にしたのは、地域の皆さんも若者支援に参加し、接客中の失敗を温かく見守るなど、店の

主旨を理解したうえで来店してもらうためです。現在会員数は約４８００名となり、ここから就職を実現した若者は50名を超えました」と白石さん。
運営母体のWith優には寄付など様々な形で応援してくれる企業が増え、県内外１００社にのぼります。
一方の髙山さんが事務局を務める新庄・最上ジモト大学は、卒業と同時に地元を離れる多くの高校生を対象とした、最上地域全体をキャンパスに見立てた学びの場です。髙山さんはこう話します。
「官民協働で地域が一体となり、学校では学べない、地域の課題などをテーマに、例えば、雪と雪国文化の魅力のPRなど約30本のプログラムを用意しています。多様な職種・立場の大人と接し、地元を知り、学ぶことで、高校生はその魅力や可能性を発見していきます。
同時に、自ら主体性や社会性、探求心を持って取り組むことで、これからの時代を生き抜く力を身に付けていくことを期待しています」。
ジモト大学がスタートした平成29年度の参加者は２４４名でしたが、コロナ禍の昨年度はオンラインプログラムも併用して、前年度を上回る５８７名もの高校生が参加しました。

大人自身が変わり、地域で子どもたちを支える

髙山さんの取組みを聞き、置賜にもジモト大学が欲しいと白石さんは言います。
「どんな自分であっても認めてくれる“受け皿”や、自ら行動を起こす“きっかけ”さえあれば、子どもたちは安心でき、動き出せます。
私の活動は、地元を好きなことがベースとなっています。子どもたちや若者には、楽しいと思いながら山形で育ってほしいのです。不登校というだけで、将来が閉ざされるような社会ではいけないと思います」。
髙山さんが、大きくうなずきます。
「白石さんのように、不登校であることを責めずに受け止めてくれる人の存在は大事ですね。学校に行く行かないだけで判断せず、子どもの将来を地域で育むこと、そのための開かれた　“場”が必要です。そして、社会を作っている大人が、自らの価値基準などを変えていく勇気を持たなければなりません。
ジモト大学でも、高校生と学ぶ大人の本気と本音が試されています」。
白石さんがこれに応えます。
「誰かの評価ではなく、自分が納得できる生き方や、失敗してもいいからやってみようという姿を、私たち大人が子どもたちに見せることが大切ですね。一人の若者の希望が、地域や社会を変えていきます」。

＜10から11ページ＞

タイトル　**県議会だより**　第84号

写真キャプション　２月定例会（着物姿で伝統産業をＰＲ）

２月定例会の概要

令和３年２月定例会は、２月 18 日から３月 18 日までの 29 日間の会期で開催され、令和３年度一般会計予算案や令和２年度一般会計補正予算案など知事提出の 98 議案などを可決・同意、副知事の選任に係る１議案を否決しました。また、４件の意見書を可決し、国に提出することとしました。
今定例会は、１月 24 日に投開票が行われた山形県知事選挙後、初の定例会となりました。新型コロナの感染拡大防止と経済再生の両立という難しい課題がある中、知事が掲げる公約やその実現に向けた今後の取組み、東日本大震災から 10 年を迎え、県民が安全安心に暮らせる災害に強い県土づくりに向けた質問など、活発な質疑質問が行われました。

新 正副議長が決まりました

議長、副議長選挙が行われ、第 34 代議長に坂本貴美雄議員（新庄市選挙区）が、また、第 66 代副議長に奥山誠治議員（山形市選挙区）が選出されました。

写真キャプション１　坂本貴美雄新議長
写真キャプション２　奥山誠治新副議長

各委員会の令和 3 年度の所属委員はこちらからご覧いただけます！
https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/giinsyokai/index.html

２月定例会で質疑質問を行った議員

質疑質問の様子（動画）や会議録はこちらからご覧いただけます！
（録画中継）
http://gikai.pref.yamagata.jp/YamagataPref/

会議録検索システム（２月定例会分は６月以降に掲載予定）
https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html

代表質問（２月 26 日）

自由民主党　奥山誠治 議員　山形市選挙区
◆今後の新型コロナ対策について　など

県政クラブ　髙橋啓介 議員　山形市選挙区
◆安定した職場の提供と県民所得の向上について　など

一般質問（3 月 1 日、2 日）

自由民主党　相田光照 議員　米沢市選挙区
◆４期目の知事の退職金について　など

公明党　菊池文昭 議員　山形市選挙区
◆交通系 IC カードの導入と今後の広がりについて　など

自由民主党　渋間佳寿美 議員　米沢市選挙区

◆公約に掲げた工業技術センター置賜試験場の移転整備について　など

自由民主党　島津良平 議員　東置賜郡選挙区
◆移住促進に向けた取組みについて　など

県政クラブ　菊池大二郎 議員　村山市選挙区
◆冬期間における安全安心な県民生活の確保について　など

自由民主党　坂本貴美雄 議員　新庄市選挙区
◆知事の県政運営について　など

予算特別委員会（３月４日、５日、８日）
自由民主党　遠藤寛明 議員　上山市選挙区
◆無利子・無保証料融資制度の返済について　など

県政クラブ　髙橋　淳 議員　鶴岡市選挙区
◆環境保全型農業の推進について　など

自由民主党　柴田正人 議員　南陽市選挙区
◆県と市町村の協議の場の設置について　など

自由民主党　小松伸也 議員　最上郡選挙区
◆新型コロナの感染拡大防止と経済回復の両立について　など

無所属　阿部ひとみ 議員　酒田市・飽海郡選挙区
◆あらゆる分野における女性活躍に関する知事の所見について　など

自由民主党　鈴木　孝 議員　東村山郡選挙区
◆三世代同居について　など

県政クラブ　石黒　覚 議員　酒田市・飽海郡選挙区
◆コロナ禍における病院経営の状況等について　など

自由民主党　舩山現人 議員　東置賜郡選挙区
◆米の需給調整について　など

新型コロナウイルスの感染防止対策の強化と経済再生を求め知事へ提言
3月8日、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会が開催され、「ワクチン接種の円滑な実施及び本県経済の回復と事業の継続に向けた提言」を金澤議長が知事に手渡しました。

2月定例会で可決した意見書

●多核種除去設備等処理水の取扱いに係る理解促進と風評対策の徹底を求める意見書
●地球温暖化対策の更なる推進を求める意見書
●地域における医療提供体制の確保に向けた対策の充実強化を求める意見書
●漁業者の安全操業に向けた外国漁船の違法操業に対する取締りの強化を求める意見書

令和２年度 議会政策提言

令和 2 年 3 月に設置した 3 つの特別委員会における審査・調査結果を踏まえて、県勢発展につながる施策を県議会の総意として取りまとめ、3 月 17 日、知事に対して議会政策提言を行いました。

＜提言 1＞
脱炭素社会の実現に向けた取組みと異常気象に対応した防災・減災対策の推進
＜提言２＞
持続可能な医療提供体制の構築と女性の県内定着・回帰に向けた対策の推進
＜提言３＞
社会の変化に対応した産業競争力強化・担い手確保対策の推進

政策提言全文はこちらからご覧いただけます!
https://www.pref.yamagata.jp/documents/18259/r030317_recommendation.pdf

県議会ギャラリーに高校生の書道作品を展示

県議会ギャラリーでは、2 月定例会中、文化部のインターハイといわれる「こうち総文 2020」書道部門に参加した、県内の高校生による書道作品を展示しました。

生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

2 月 26 日、県立山形西高等学校の生徒会役員等 15 名と投票率向上や女性の社会進出などをテーマに意見交換を行いました。意見交換終了後、議場を見学していただきました。

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!

https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html
1　定例会の概要や議会の日程
2　議会の生中継やこれまでの質疑の模様
3　可決した意見書・決議の内容
4　各常任委員会・特別委員会での質疑内容
5　会派ごとの議案等に対する賛否状況　など

問い合わせ　編集発行／県議会事務局議事調査課 電話番号 023-630-2845
詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

＜12 から 13 ページ＞

タイトル　**地域の旬だより**　各地からの情報をお届けします。

村山エリア　花笠踊り発祥の地「徳良湖（とくらこ）」百周年

徳良湖は、尾花沢市にある農業用ため池で、大正 10 年に完成し、今年で百年目を迎えます。その築堤工事において、ため池の底をつき固める作業「どんづき」の掛け声「唱（しょう）」から花笠音頭が生まれ、その「唄（うた）」に合わせた即興の「踊り」が花笠踊りになったと言われています。

面積 26ha（東京ドーム約 5・5 個分）の広大な徳良湖は、周辺の農地約 230ha を潤しています。農業用ため池として高く評価され、平成 22 年には全国約 21 万箇所のため池の中から農林水産省の「ため池百選」に選定されました。また、周辺には温泉やキャンプ場などがあり、住民の憩いの場としても親しまれています。この５月３・４日には、百周年記念イベントが行われます。当日は、徳良湖一周を囲んでの花笠踊り（当日参加も可能）や花笠マラソン大会、県内ゆかりの歌手による野外ステージなど、多くの方々が楽しめるさまざまなイベントが予定されています。桜並木に囲まれた湖畔では、たくさんの鯉のぼりが泳ぎながら、皆さんのご来場をお待ちしております。

問い合わせ　村山総合支庁農村計画課　電話番号　023-621-8389

置賜エリア　農業の魅力を伝えるアグリ・ティーチャー！

県や置賜地域の市町、地元ＪＡ等で構成する置賜農業振興協議会では、中学生が農業を職業として考える機会を提供しようと、地域の農業者をＡｇｒｉＴｅａｃｈｅｒ（アグリティチャー）として置賜管内の中学校に派遣しています。講師は、地元で意欲的に農業経営に取り組んでいる若手農業者７個人と４団体です。平成 30 年の事業スタート以降、これまでに延べ９校に講師を派遣し、約１３００人の生徒に農業の魅力ややりがいを伝えてきました。

どの学校でも、生徒たちは、講師が語る作物や家畜を育てる喜びと苦労に、熱心に耳を傾けてくれます。生徒からは、「食べ物に生産者の思いや努力が詰まっていることを実感できた」、「農業を通して多くの人と出会える魅力を知った」、「地産地消を実践していきたい」などの感想が寄せられています。

中学校におけるキャリア教育としてだけでなく、農業を通して食や命の大切さを学べる貴重な機会でもあります。今年度も管内の中学校からの派遣申請を随時受け付けていますので、ＰＴＡ行事や食育活動など幅広い場面でご活用ください。

問い合わせ　置賜総合支庁農業振興課　電話番号　0238-26-6049

詳しくは検索窓に「おきたま食の応援団」と入れてクリック。

県内おススメ文化・スポーツ情報

山形県総合文化芸術館オープニング事業

合唱の祭典

山形県合唱連盟創立 70 周年事業

世界で活躍する指揮者・山田和樹と東京混声合唱団を迎え、山形のアマチュア合唱団・オーケスト

ラとともにつくりあげる合唱祭。東京混声合唱団の演奏のほか、久石譲の委嘱作品「I want to talk to you」初演と組曲「蔵王」の演奏を出演者合同で行います。

開演日時
6 月 19 日（土曜日）午後３時
出演
指揮：山田和樹
東京混声合唱団、山形県合唱連盟
山形県アマチュアオーケストラ連盟
会場
やまぎん県民ホール（山形市）
料金
全席自由 2,500 円

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ
やまぎん県民ホールチケットデスク　電話番号 023-664-2204（受付時間　水曜日から月曜日 10 時から 19 時）

山形交響楽団定期演奏会情報
第293回定期演奏会
開演日時
5月29日（土曜日）午後７時
5月30日（日曜日）午後３時
出演
指揮：飯森範親
トロンボーン：中川英二郎
演目
ボロディン：歌劇「イーゴリ公」第二幕より“だったん人の娘たちの踊り”“だったん人の踊り”
リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」作品35 ほか
会場
山形テルサ（山形市）
前売券
A席 4,800円 ほか

第294回定期演奏会
開演日時
6月19日（土曜日）午後７時
6月20日（日曜日）午後３時

出演
指揮：阪哲朗
ピアノ：舘野泉
演目
ブリテン：左手のピアノと管弦楽のための主題と変奏「ディヴァージョンズ」作品21
モーツァルト：交響曲第38番ニ長調「プラハ」K.504 ほか
会場
山形テルサ（山形市）
前売券
A席 4,800円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 文化振興・文化財活用課 電話番号　023-630-3342

プロスポーツゲーム情報
「モンテディオ山形」ホームゲーム
開催日時
5月5日（水曜日・祝日）午後2時
対戦チーム
ヴァンフォーレ甲府
開催日時
5月16日（日曜日）午後2時
対戦チーム
愛媛ＦＣ
開催日時
5月30日（日曜日）午後2時
対戦チーム
ＳＣ相模原
開催日時
6月13日（日曜日）午後２時
対戦チーム
レノファ山口ＦＣ
開催日時
6月26日（土曜日）午後７時
対戦チーム
ツエーゲン金沢

会場　ND ソフトスタジアム山形（天童市）
詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

東京 2020 オリンピック聖火リレーに伴う交通規制について
県内で聖火リレーが行われる６月６日（日曜日）・７日（月曜日）は、走行ルート周辺で交通規制が敷かれます。規制場所・時間帯は、「東京 2020 オリンピック聖火リレー山形県情報サイト」をご覧ください。県民の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

詳しくはこちら https://www.yamagata2020.jp/
詳しくは検索窓に「聖火リレー　山形県」と入れてクリック。

問い合わせ スポーツ振興・地域活性化推進課 電話番号　023-630-2284

注釈　3 月 31 日時点の情報です。 新型コロナの影響で変更となる場合がありますので、 事前に問い合わせ先にご確認ください。

旬のやまがた美食レシピ

緑と白の見た目も鮮やかな春の風物詩　小笹（おざさ）うるい
うるいはギボウシとも呼ばれ、山野に自生する多年草です。小笹うるいは、明治 20 年代後半に上山市の男性が山中で見つけたものを採取し、里で栽培したのが始まりと言われています。里の地名から小笹うるいと名付けられ、今も原種を引き継ぐ伝統野菜として珍重されています。一昨年３月にはＧＩ（注釈）に登録され、これを機に地元では知名度向上と販路拡大に取り組んでいます。
小笹うるいの特長は、通常のうるいに比べて茎が太く、ぬめりが強いこと。また、鮮やかな葉の緑と真っ白い茎のコントラストが美しく、この対比を出すために日光を微妙に調整しながら当てるなど、栽培には高度な技術が求められます。出荷時期は、ハウス栽培のものが２月から始まり、露地ものは５月まで。今回は春を感じさせる煮物のレシピを紹介します。

（注釈）ＧＩ（地理的表示保護制度）：特定の産地と品質等の面で結びつきのある農林水産物を知的財産として登録し、保護する制度

小笹うるいとにしんの煮物
材料（２人分）
小笹うるい 75g、凍（し）みだいこん約 10cm、身欠にしん１本、水 50ml、酒 50ml、しょう油大さじ 1/2、砂糖小さじ 1/2
作り方
❶小笹うるいは葉先をとり、白と緑の鮮やかな色を保つため熱湯に数秒くぐらせて 5cm の長さに切る。❷凍みだいこんはぬるま湯で戻し、水分を切り、食べやすい大きさに切る。❸身欠にしんは少し軟らかめの物を選んで４等分にする。❹水、酒を煮立たせ、③を入れて少し煮る。❺④にしょう油、砂糖を加え②を入れて味が染み込むまで煮る。❻最後に①を入れ、汁がなくなるまで全体をよく混ぜながら煮含めて完成。

問い合わせ　村山総合支庁地域産業経済課 電話番号　023-621-8447

詳しくは検索窓に「村山旬の市」と入れてクリック。

＜14から15ページ＞

タイトル　おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和3年3月1日現在
人口総数1,060,158人（前月比マイナス1,042人）
世帯数401,544（前月比マイナス156世帯）

注釈　令和3年３月31日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

【試験】
山形県職員採用試験
今年度の山形県職員採用試験を、以下のとおり実施する予定です。
＜試験名＞大学卒業程度
＜申込受付期間＞５月７日（金曜日）から５月27日（木曜日）
＜第1次試験日＞６月20日（日曜日）

＜試験名＞短大・高校卒業程度市町村立学校事務職員
＜申込受付期間＞８月６日（金曜日）から９月３日（金曜日）
＜第1次試験日＞９月26日（日曜日）

＜試験名＞警察官A
＜申込受付期間＞４月20日（火曜日）から6月14日（月曜日）
＜第1次試験日＞７月11日（日曜日）

＜試験名＞警察官B
＜申込受付期間＞７月16日（金曜日）から８月30日（月曜日）
＜第1次試験日＞９月19日（日曜日）

◆受験案内配布開始日
大学卒業程度　５月７日（金曜日）
短大・高校卒業程度　８月６日（金曜日）
市町村立学校事務職員　８月６日（金曜日）
警察官A、警察官B ４月20日（火曜日）

◆配布場所

県庁（１階受付、15 階人事委員会事務局）、各総合支庁総合案内窓口､県外事務所（東京・大阪・名古屋）
（注釈）県ホームページからもダウンロードできます。
問い合わせ　人事委員会事務局 電話番号　023-630-2782

山形県公立学校教員選考試験
今年度の山形県公立学校教員選考試験（１次試験）を、以下のとおり実施する予定です。
◆試験日　７月 17 日（土曜日）
◆実施要項配布開始日　５月７日（金曜日）
◆配布場所
県庁（１階受付、13 階教育庁教職員課）、各教育事務所、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）
問い合わせ　教育庁教職員課　電話番号　023-630-3406

山形県病院事業局職員選考試験（看護師・医療情報職）
今年度の県立病院の選考試験を、以下のとおり実施する予定です。
◆申込受付期間
看護師：５月 31 日（月曜日）から７月２日（金曜日）
医療情報職：５月 31 日（月曜日）から９月 17 日（金曜日）
◆試験日
看護師：７月 31 日（土曜日）、８月１日（日曜日）
医療情報職：10 月中旬の２日間
◆受験案内配布開始日 ５月７日（金曜日）
◆配布場所
県庁（１階受付、12 階県立病院課）、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）
（注釈）県ホームページからもダウンロードできます。
問い合わせ　県立病院課　電話番号　023-630-2167

山形県調理師試験
今年度の調理師試験を、以下のとおり実施する予定です。
◆申込受付期間　６月 11 日（金曜日）から 25 日（金曜日）
◆試験日　10 月 30 日（土曜日）
◆願書配布場所 各保健所生活衛生課（室）（注釈）山形市保健所を除く
問い合わせ　食品安全衛生課　電話番号　023-630-2621

【募集】
さくらんぼ農家で働いてみませんか！
山形県の顔である「さくらんぼ」は、収穫などの人手不足が深刻です。主産地のさくらんぼ農家では、作業を手伝ってくれるアルバイトを募集中です。今年から、アプリを使った応募が可能となりました。まずは、１日からでも働いてみませんか？

◆募集期間 ６月上旬から７月中旬
◆作業内容 収穫、選果、箱詰め等
◆申込窓口 各ＪＡ無料職業紹介所またはハローワーク
問い合わせ　園芸農業推進課　電話番号　023-630-2466

詳しくはこちら
https://www.pref.yamagata.jp/140032/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/nousambutsu/sakurambo/roudouryoku.html
詳しくは検索窓に「さくらんぼ労働力」と入れてクリック。

奨学金の返還を支援します！
やまがた就職促進奨学金返還支援事業応募者募集
県では、学生の皆さん等が、県内に就業・定住した場合に、奨学金の返還を支援します。
＜学生の方（大学・短大・専門学校等）＞
◆やまがた若者定着枠 定員230名
◆産業人材確保枠 定員50名
◎募集時期：5月27日(木曜日)から6月30日(水曜日)
◎最大支援額：124万8千円
＜Ｕターン希望の方（社会人）＞
◆Ｕターン促進枠 定員40名
◎募集時期：7月頃
◎最大支援額：60万円
各要件や申込方法などは県ホームページをご覧ください。
https://www.pref.yamagata.jp/110001/bunkyo/wakamonoseishounen/wakamono/syogakukin/syogakukinhenkansien.html
問い合わせ　商工産業政策課 電話番号　023-630-2691

【お知らせ】
新たな食品営業届出制度が６月から始まります！
食品衛生法の改正により、許可業種以外でも、食品営業を行う際は、一部の業種を除き届出が必要になります。現在、対象の営業を行っている方は、期限までに届出をお願いします。
◆対象 野菜果物販売、冷蔵冷凍品の販売、農産加工食品の製造等
◆届出期限 11 月 30 日（火曜日）まで
◆届出方法　オンラインで届出
問い合わせ　食品安全衛生課 電話番号　023-630-2677
詳しくはこちら
https://www.pref.yamagata.jp/020071/kurashi/shoku_anzen/syokuhinn/0601shokueihokaisei.html

「あなたの回答で、日本の未来が見える。」
令和３年経済センサス活動調査を行います

本年６月１日時点における日本経済の「今」を知るため、全国すべての事業所・企業を対象に行う、５年に一度実施する重要な調査です。調査へのご理解・ご回答をお願いします。
◆対象 全国すべての事業所・企業
◆調査内容 名称、所在地、経営組織、従業者数、事業内容、売上金額など
◆調査方法 県知事が任命する調査員が直接伺い、調査票を配布します。（支所などを有する企業には、国が本社などに調査票を郵送します。）
安全で便利なインターネット回答がおすすめです。
詳しくは検索窓に「経済センサス　2021」と入れてクリック。
問い合わせ　統計企画課　電話番号　023-630-2184

山形県宝くじ情報
県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、道路や橋、学校、公園の整備など私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじは山形県内でお買い求めください。
ドリームジャンボ宝くじ　５億円
ドリームジャンボミニ　5,000 万円
発売期間：5 月 7 日（金曜日）から 6 月 4 日(金曜日)

問い合わせ　財政課 電話番号　023-630-2044

５月は自転車月間です！自転車は安全で適正に利用しましょう
近年、自転車は、コロナ対策や健康増進、観光での利用にも注目され、利用者の増加が見込まれています。その一方で、自転車事故による被害や高額賠償事例が社会的な問題となっています。
山形県では、令和 2 年 7 月 1 日から、自転車損害賠償責任保険等への加入が義務となりました。
自転車を利用する場合は、自分や家族を守るためにも必ず保険に加入しましょう。また、ヘルメットの着用は大切な命を守ることにつながります。大人も子どももみんなで着用しましょう。
自転車保険への加入についてはこちら
https://www.pref.yamagata.jp/documents/18733/r2hoken.pdf
問い合わせ　消費生活・地域安全課 電話番号　023-630-2460

高齢者講習の予約はお早めに！
70 歳以上の高齢運転者は、前もって自動車教習所で高齢者講習を受講しないと、運転免許証の更新ができません。対象となる方には有効期限の６か月前に案内のハガキをお送りします。運転免許証の更新をお考えの方は、ハガキが届いたら、すぐに自動車教習所へ予約をお願いします。予約が遅れると、高齢者講習を受講できずに、運転免許証の有効期限が切れるおそれがあります。

運転に不安を感じたらお電話ください。
安全運転相談ダイヤル
#8080（シャープハレバレ）
問い合わせ　県総合交通安全センター 電話番号　023-655-2150

５月は消費者月間です
新型コロナウイルス感染症の拡大など社会情勢の変化に適切に対応するために、消費者一人ひとりが「新しい日常」において、よりよい消費行動について考えることが大切です。
◆2021 年度統一テーマ
「消費で築く新しい日常」

「消費生活サポーター」募集中！
消費者被害防止のため、県が発信する注意喚起情報等を地域や身近な人に伝えるパイプ役となるボランティアを募集しています。興味のある方は下記へお問い合わせください。
◆応募資格 満 18 歳以上の方
問い合わせ　消費生活・地域安全課 電話番号　023-630-3237

山形県消費生活センターキャラクター“ケロちゃん”
申し込んでケロ!

自動車税種別割の納期限は５月 31 日（月曜日）です
自動車税種別割は、お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアの窓口での納付のほか、クレジットカードを利用して自宅でも納付することができます。皆さん、忘れずに納めましょう。
問い合わせ　税政課 電話番号　023-630-2068

新型コロナウイルス 相談・受診の流れ
〈発熱やせきなどの 「症状がある」場合〉
かかりつけ医療機関がある方は
診察券に書いてあるかかりつけ医療機関の電話番号へ
・受診前に、必ず電話で受診相談をお願いします。
・相談を受けた医療機関で対応できないときは、最寄りの対応医療機関をご案内します。
・発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。
かかりつけ医療機関がない方は
・受診相談コールセンターへ電話相談
　フリーダイヤル　0120-88-0006【24 時間受付・土日祝日も含む】
・医療機関をご案内します
・発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

〈「症状がない」場合〉
・感染していないか心配
・予防方法を聞きたい 等
電話相談
一般相談コールセンター
フリーダイヤル　0120-56-7383【受付時間 午前 8 時 30 分から午後 6 時　土日祝日も含む】
厚生労働省の電話相談

フリーダイヤル　0120-56-5653【受付時間 午前９時から午後９時　土日祝日も含む】

聴覚や言語機能に障がいがある方については、以下の方法により受付しています。
ファクシミリ　023-625-4294（月曜日から金曜日（祝日除く）午前８時 30 分から午後５時 15 分）

＜16 ページ＞

タイトル　**やまがた伝説**

どうして山形県はさくらんぼの生産日本一なの？どでかい新品種も登場？

山形県でさくらんぼの栽培が始まったのはいつ？なぜ？
「さくらんぼ」は収穫した果実を言い、「おうとう」は学術用語で樹木と成っている実、「チェリー」は加工品や輸入物とおおまかに区別して使われています。山形でさくらんぼの栽培が始まったのは明治８年。全国で育成が試みられましたが、実らせることに成功したのは本県とその周辺だけでした。雨に弱いさくらんぼにとって、山に囲まれ６月の降雨が少ない山形の環境が非常に適していたのです。その後、さくらんぼ栽培は県内で普及し、今では全国生産量の約７割を占める「さくらんぼ王国」になっています。

山形県は大正時代からさくらんぼ日本一
その代表選手が「佐藤錦」なんだって！
佐藤錦は県内栽培の約７割を占めるさくらんぼ界のトップスターです。生みの親は、東根市の佐藤栄助氏。16 年もの歳月をかけて生食用品種として育成しました。佐藤錦の栽培が拡大したのは、缶詰の需要が下火になり生食用品種に転換し始めた昭和 40 年代から 50 年代にかけて。雨除けハウスの普及もこれに拍車をかけました。山形県は、大正元年以降（注釈）、さくらんぼ生産日本一であり続けていますが、現在も２位以下を大きく引き離す牽引役が佐藤錦なのです。

（注釈）昭和 18 から 23 年は戦中及び戦後の混乱期のため統計データなし

佐藤錦のほかにもこんなにたくさんの種類があるって知ってた!?
さらに噂の新品種もデビュー間近!
佐藤錦の誕生後も、様々な品種が生まれました。爽やかな甘さの「南陽」、甘酸っぱく赤い果肉の「紅さやか」、甘みとしっかりした果肉が特長の「紅秀峰」、大粒で濃厚な味わいの「紅てまり」、果汁が多く早生の「紅ゆたか」などなど。そして、今、期待の大型新人が「やまがた紅王」です。艶のある紅色が鮮やかで、500 円玉よりも大きい大玉は食べ応えも抜群、令和５年の本格出荷に向けて注目を集めています。

さくらんぼについてお話をお聞きした
村山秀樹（むらやま　ひでき）さん

山形大学農学部 教授

2017年、山形で日本初の国際オウトウシンポジウムが行われました。

山形県の年間さくらんぼ産出額は360億円以上、果樹園への観光客は約50万人もあり、その経済波及効果は計り知れません。豊かな食文化に恵まれた山形のなかでも、米に次ぐ農産品として、大きな期待が寄せられています。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和3年5月号621号
奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課
郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534
表紙題字　山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス　https://www.pref.yamagata.jp/